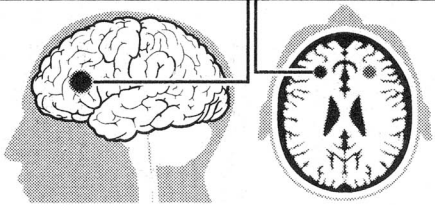


## 米科学誌 東大准教授ら

英語などの外国語が得意な人は、脳の前頭葉にある左右の「下前頭回」のうち、左の方が右に比べて大きいとする研究結果を、酒井邦嘉・東京大准教授（言語脳科学）らのチームが米科学誌ヒューマン・ブレイン・マッピングに発表した。

語学の得意な人は左側が大きい「下前頭回」



前頭葉の部位特定

# 語学の達人 左脳大きく

語学の適性にかかわる脳の部位を特定したのは初めて。酒井准教授は「この部位が発達しているから語学ができるのか、一生懸命勉強したから部位が大きくなったのか、分からない」と話している。

チームは、中学一年から英語の勉強を始めた日本の中高生七十八人と、小学生のころから英語を勉強している、英語圏以外の国からの成人留学生十七人の脳の形状を計測した。英語の文法などに関連する課題に答えてもらい、成績と脳の形状を比較。左側の下前頭回の体積が、右側に比べて大きい人ほど成績が良いことを発見した。